

寝屋川市立第八中学校で『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日 時：2015年12月9日（水） （8：55～12：45）

場 所：寝屋川市立第八中学校体育館

参加者：地域住民の方（16名）、寝屋川市立第八中学校2年生（120名）と先生方

ファシリテータ：寝屋川市立第八中学校2年生40名、建築学科生14名、大学院生3名、薬学部生4名、教員3名（計64名）

今回の見どころ

寝屋川市立第八中学校では、2014年度から総合学習の時間を用いて、防災学習を実施しています。摂南大学では、この取り組みを補佐し、2014年度は〇×防災クイズなどを実施した『防災教育プログラム』を実施、2015年6月には『避難所運営訓練HUG』を実施しました。HUG(ハグ)とは、静岡県が開発した避難者運営シミュレーションゲームで、各地で図上訓練として実施されています。今回は授業4コマ分の時間を使いましたが、6月のHUGを経験した中学生(40名)が地域の方々のHUGをファシリテートする試みを行いました。また、災害時の薬に関するレクチャーを薬学部教員が行い、その後スマートフォンを用いて災害時に避難所で利用できる「お薬検索アプリ」も体験していただきました。

プログラム実施風景



【1時間目】薬学部教員から災害時の薬に関するレクチャーがありました。



【2時間目】スマートフォンの『お薬検索アプリ』を体験しました。



【2時間目】別室では中学生20名がファシリテータ研修を受けています。



【2時間目】6月のHUGの振り返りを行い、避難所の体育館の通路を決め、役割分担などを行いました。



【3～4時間目】いよいよファシリテータ本番です！！中学生ファシリテータの緊張の表情が見られます。



【3～4時間目】6月のHUG同様、みんなで話し合い、次々に来る避難者を体育館や教室に振り分けていきます。

プログラムの実施結果

今回は中学生ファシリテータへの研修が必要であったため、私たちが普段行っているファシリテーションそもそもを見直し、伝えることが必要でした。しかし、中学生ファシリテータは言われたことをよく理解し、上手に進行し、参加者が意見を出し合い、吟味し真剣に取り組めるようにしていました。一方、2度目の参加役となった寝屋川市立第八中学校生は、体育館の通路作成もスムーズに完了しました。また今回は、避難者リスト作成にもチャレンジし、6月よりパワーアップした成果物が出来上がったと思います。

参加していただいた地域住民の皆様、寝屋川市立第八中学校の生徒の皆さん・先生方、ありがとうございました。